

## 1 プロジェクト名

静岡市から「プラモデル部 Pracci」を発信したい  
～「しず部」プロジェクト～

## 2 実施理由・背景

少子化や活動の過熱化、教員の働き方改革等により、国は、学校部活動を地域に移行することを推進し、令和5年度より3年間で改革集中期間としています。これを受け静岡市では、学校部活動に代わる新しい地域クラブ「シズカツ」を構築し、部活動改革を始めています。こうした取組に呼応し、元校長5名が中心となり、一般社団法人しずおか BukatsuDO クラス（通称「しず部」）を設立しました。

部活動は、学校というフィールドにおける生徒の主体的な参加による活動を通じて、責任感・連帯感を涵養し、自主性の育成に寄与する等、人づくりという意味で重要な存在です。それに加えて、生徒が地域の中で活動する機会があれば、幅広い年齢や多様な活力ある人との交流を通じ、更なる生徒の成長を促すとともに、地域に持続可能で多様な文化芸術等に親しむ環境の創出にもつながっていくと、考えています。私たちは、「人づくり（教育）」と「地域づくり（地域活性化）」の両方を目指し、学校部活動の枠組みとは別に、地域に密着した地域部活動を提供する「しず部」プロジェクトを進めています。

「しず部」の活動は中学生を中心としていますが、希望により小学生や高校生でも部員として参加することができます。また、指導者や支援者として専門家や保護者が参画し、協力者として個人や団体・大学・企業等が特性をいかして参加しています。私たちの活動によって、市民の幅広い参加・協力を得て、活動を展開し、発信し、みんながしあわせを実感すること、ひいては、みんなで地域を豊かに活性化していくことを、新しい価値として創出していきます。

令和4年10月、「しず部」において、静岡市の地域資源を生かした「プラモデル部」を設立しました。これまでの学校部活動にはない分野での活動ですが、「模型の世界首都・静岡ならではの地域部活動」として、企業（アオシマ）・大学（静岡大学芳賀研究室）・PTA（市PTA連絡協議会）・市（産業振興課プラモデル推進係）の協力をいただきました。部の愛称を「プラモデル」と方言「おれっち」を併せ、Pracci としました。プラモデルを軸に、生徒と地域の人やモノや活動の交流を増やし「自分の家（おれっち）」のように身近に地域（静岡市）を感じてほしいという願いからです。令和5年度になり、生徒の参加（部員加入）があり、プラモデルの製作活動を中心に試行的にスタートしました。保護者は部費や教材費を負担していますが、生徒数が少ないため運営費は、願う活動を展開させるためには十分ではありません。プラモデルを自分の思い通りに製作し、その魅力を他者に伝えること、地域と交流して活動すること、そして、プラモデル部 Pracci を発信できるまでに活動を発展させたいのです。

そこで、令和6年度は、クラウドファンด์にて寄付を募集し、静岡市ならではのプラモデル部 Pracci を軌道に乗せたいのです。具体的には、製作活動や地域との交流活動を充実させ、地域部活動プラモデル部 Pracci のよさを発信することを目指します。このことにより、生徒にとって、プラモデル部の活動が、「自分のコアで、夢にチャレンジし、出会いに感謝する」活動に近づくようにしたいと願っています。そして、生徒の参加や関心を寄せる市民・団体等が増加し、さらにプラモデルを通じた地域活性化の一翼を担っていけるように飛躍させたいのです。

### 3 プロジェクト内容説明・スケジュール

- 常時活動（製作活動・交流活動）の充実
  - 4月 参画者（部員）募集
  - 4月～3月 活動予定
  - ＜常時＞プラモデル製作活動（月 2～3回） ＜随時＞プラモデルに関する講義
  - ＜5月＞ホビーショーへ参加 ＜8月・12月＞プラモデル企業見学
  - ＜10月＞番町市民活動センター学園祭に出演(展示)
  - ＜12月＞プラモデルを魅せる（製作物の展示等）クリスマスフェスタへのブース展示
- 地域部活動プラモデル部 Pracci の活動を発信
  - ＜2月＞ミニコミ誌のような冊子(広報誌)を編纂し生徒を中心に配市する
- 様々な連携・協力の継続
  - プラモデル企業、静岡大学教育学部芳賀研究室、静岡市 PTA 連絡協議会、静岡市（産業振興課プラモデル推進係）他

### 4 目指すところ

- プラモデル部 Pracci の活動が充実できます
  - 「しず部」での活動が「自分のコアで、夢にチャレンジし、出会いに感謝する」活動となるよう充実します
  - ・プラモデル部部員の増加があり、運営ができる
  - ・製作活動、交流活動、魅せる活動が十分にできる
- プラモデル部 Pracci の活動を発信します
  - 「模型の世界首都・静岡ならではの活動」を生徒中心に市民に広く発信し、地域の活動を浸透させます
  - ・参加する生徒（部員）や協力・参画等をする保護者・団体・法人等が増加する
- 地域と密着したクラブ活動の実施により、新しい価値の創出に寄与します
  - 「しず部」での活動を通して「人づくり」「地域づくり」に貢献します
  - ・地域での活動を通して、幅広い年代の部員、異なる学校の部員と対話し、専門家顧問の支援を受けながら、活動の目標を決め、自分たちで協力、努力し何かを成し遂げる
  - ・多様な活力ある人と出会い、地域の活動に参加し交流し、地域への誇りと愛情を育む
  - ・地域の持続可能で多様な文化芸術等に親しむ環境をつくり、地域を活性化させる役割を担う

### 5 寄附の使い道

- 常時活動（製作活動・交流活動）の充実するために使用します
  - ・製作活動消耗費及び教材費補助費
  - ・臨時講師招聘報償費
- 地域部活動プラモデル部 Pracci の活動を発信するために使用します
  - ・広報誌製作費

### 6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額： 950,000 円

ネクストゴール設定時の事業計画

広報誌の増刷または HP の一新（専門家作成依頼）補助により発信を強化していきます

### 7 目標金額に満たない場合

目標額に満たない場合は、令和 6 年度の自己資金（部費・教材費）により、できる範囲で常時活動を実施します。また、活動の発信は、予定した仕様を見直し、縮小して実施します。

### 8 団体紹介

元校長 5 名が理事・顧問となり賛同者とともに設立した団体です。

- (1) 団体等名称 一般社団法人しずおか BukatsuDO クラス（通称「しず部」）
- (2) 団体等種別（法人格）非営利組織（社団法人）
- (3) 設立年月日 令和 4 年 8 月 16 日
- (4) 住所 〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿三丁目 8 番 11 号
- (5) 理事 寺尾光正(代表) 望月敬幸 稲垣宣子 宮村史子 小林正明
- (6) 事業目的及び内容

しず部は、学校と地域社会、文化・スポーツ団体をつなぎ、活動を通じて地域に貢献し、生徒を中心に参画者が生涯有効となる文化・スポーツ活動を獲得し、豊かな未来を築くことを目的とする。

- 1 生徒を中心に、学校、行政、関係団体・企業、市民による活動に関する協力や連携等のつながりをつくること
- 2 これまでにない新しい活動の場として活動部を設立し運営すること

### 9 広報計画

- (1) 本会ホームページに寄付金募集に関する情報を掲載し広報します
- (2) 本会及び顧問の Instagram に寄付金募集に関する情報を掲載し広報します
- (3) 令和 5 年度末までにしず部体験会を開催する部が配布するチラシに寄付金募集に関する情報を掲載し広報します
- (4) 顧問・部員が口コミで寄付金募集に関する情報を広報します
- (5) 12 月に開催されるクリスマスフェスタ 2023 に出展ができれば、参加者にチラシを配布し、プラモデル部 Pracci の活動や寄付金募集に関する情報を広報します
- (6) 協力いただける企業の SNS に、寄付募集に関する情報を掲載し広報します

### 10 目標金額

650,000 円

## 収支予算書

団体名：一般社団法人しずおか BukatsuDO クラス

収入			1010 千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金	寄付金		650 千円
自己資金			360 千円
合 計			1010 千円

支出			1010 千円
	科目	内容・数量	金額
事業費	印刷製本費	広報冊子印刷費（1000 部） *新入生数の約 1/5 部	200 千円
	消耗費	製作活動消耗品 （カラー、塗料、筆、接着剤等）	64.2 千円
	教材費	プラモデル代 （12 ヶ月×10 部員分）	120 千円
		プラモデル代補助 （12 ヶ月×10 部員分）	180 千円
	報償費	講師謝礼 臨時講師謝礼	240 千円 120 千円
そ の 他	手数料相当	12% + 税	85.8 千円
合 計			1010 千円